



環境に優しいものづくり

— 資源循環型社会の実現に向けて —

●とき
2009/ **11.14** 土
15:00～17:00 (14:30開場)

●ところ
弘前大学農学生命科学部 402講義室
〒036-8561 弘前市文京町3

●演題および演者
「バイオマスは環境に優しい？」
～再生可能な資源を活用する社会形成への取り組み～

園木 和典 弘前大学農学生命科学部 分子生命科学科 准教授
【研究分野/応用微生物学】

「石油に代わる樹木の活用技術最前線」
～木ってとってもすごいです！～

大塚 祐一郎 独立行政法人森林総合研究所 バイオマス化学研究領域 研究員
【研究分野/林産化学、応用微生物学】



JR弘前駅より
□ 徒歩 約15分 □ タクシー 約5分 □ バス 約10分 (3番乗り場小栗山線「弘前大学前」下車)

地球温暖化や化石資源(石油)の枯渇など、私たちの生活にとって深刻な問題が取り上げられている中、「バイオマス」という言葉を耳にしませんか？

バイオマスとは「生物資源」のことを指して使われる言葉です。最も身近な例は、樹木や作物といった植物です。紙は樹木から、デンプンは作物から造られます。私たちの生活に利用できる生物由来の資源、それがバイオマスです。

では、今なぜ、バイオマスが注目されているのでしょうか？植物バイオマスは、地球温暖化の主要因である二酸化炭素を吸収して生長するため、植物バイオマスを活用することは二酸化炭素の一方的な排出を抑制し、環境にやさしい資源循環型社会形成の切り札と捉えられています。

バイオマスの活用とは、どういうことなのでしょう？どのようなことが世の中で行われているのでしょうか？何が必要なのでしょう？環境問題が深刻化している今こそ、一緒に考えてみませんか？

●お問い合わせは 宮入 一夫 (弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科)
☎ 0172・39・3772 ✉ km124@cc.hirosaki-u.ac.jp